

障がいのある人の雇用に取り組む



株式会社 カワタキコーポレーション (京都市南区)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】

家庭用日用品の卸売業、生協様個配物流事業

【障がいのある人の主な仕事】

ラインでのピッキング作業、事務職



【障がい者雇用の経緯】

10年以上前から、法定雇用率の達成と人材の確保、社会貢献を目的として、障がい者雇用を開始しました。今では、30名の社員が、ラインでピッキング作業に携わっています。

特別支援学校や就労移行支援事業所から紹介いただき、2週間の実習を2回位行ってから、就労してもらいます。

一般採用でも事務職として身体障がい(内部障害)の社員が2名働いています。

【工夫していること】

新人の社員は、15名位の職場に所属し個々人の障がい特性を理解している上司の元、作業を繰り返すことで仕事を覚えます。

職場には職業生活相談員を配置しており、半年に1度、特別支援学校や就業・生活支援センター等の支援機関を含めた三者で面談します。体調不調時など、日常的にも必要なサポートを行っています。また、通院が必要な人には、シフトで工夫して通院時間を保障しています。



【Jさんに聞きました】

3年目です。就業・生活支援センターを経て就労しました。

実習の時は、あまりにも緊張してよく分からなかった。でも、せっかくの紹介なので、働いてみようと思いました。

分からない時は気軽に聞けるし、何度同じことを聞いても怒らず教えてもらえます。話し易い人ばかりで、働きやすいです。

計算が苦手で、個数の管理に時間がかかり、経験を積み早くなった時は大変嬉しかったです。

【Iさんに聞きました】

6年目です。実習の時は、メモなどを使い丁寧に教えてもらったが、緊張して中々覚えられなかった。

就労してから、見て聞いてを繰り返し、ほぼ出来るようになりました。イレギュラーなことは、リーダーに報告し対応します。

休みはゆっくりすることが多く、たまに街に出ます。



令和3年12月取材